

# カラカス日本人学校創立40周年記念事業について

平成26年11月作成

## 1 主旨・目的

昭和50（1975）年11月1日に創立されたカラカス日本人学校が、平成27（2015）年11月1日で創立40周年を迎えたことを、学校に関係した全ての方々とお祝いするため、種々の記念事業を行う。

## 2 カラカス日本人学校創立40周年記念事業

- (1) 創立40周年記念誌（文集）「アビラ」作成（CD版，保管用冊子）
- (2) 創立40周年記念運動会開催 平成27年6月27日（土）開催予定
- (3) 創立40周年記念式典開催（創立40周年記念学習発表会の中で）  
平成27年10月31日（土）開催予定（永年勤務者「10年以上」表彰 対象6名）
- (4) 創立40周年記念品の作成・配布（式典の日に配布）
- (5) 創立40周年記念植樹の実施（式典の日に植樹）
- (6) タイムカプセル
- (7) 日本人学校名簿・沿革史の作成（式典の日までに作成）
- (8) 学校施設・設備の整備等

## 3 事業運営主体

創立40周年記念事業実行委員会をその実施母体とする。構成員は、大使館，理事会（二水会，日系人会を含む），学校，PTAとする。その事務局を学校に置く。

## 4 事業運営予算

事業運営に関する予算は、学校予算及び実費徴収を当てる。平成27年度予算案策定に際しては、創立40周年記念事業の項を設ける。ただ、個人が享受するもの（飲食代・郵送料等）については自己負担を原則とする。創立40周年記念事業に関する寄付金徴収は行わない。主たる出費は、郵送費，消耗品費（インク，紙類），記念品費（クリアファイルを予定，CD），式典費，雑費となる。

## 5 創立40周年記念誌（文集）「アビラ」

創立以来40年間，このカラカス日本人学校に関わってこられた方々（文

部科学省，外務省，海外子女教育財団，大使館，二水会，理事会，日系人会，同窓生，教職員，保護者，児童生徒他）より原稿をいただき，記念誌（文集）を作成する。

- （１）ＣＤ版を作成するが，２０部は紙ベース（冊子）でも作成する。
- （２）原稿の収集は，①直接依頼（カラカス在住の方）②メールによる依頼（宛先のわかる方）③本校ＨＰ上で募集（宛先不明の方）④その他 とする。
- （３）原稿はワードまたは一太郎等による原稿を基本とする。手書きのものは学校でワードまたは一太郎に変換する。原稿に顔写真も併せて載せる。（横書き２段，レターサイズ）
- （４）目次等は後日，年度内に提案する。（主なる目次，沿革史，文科省・財団・大使館等関係者原稿，歴代理事長、校長，教職員原稿，児童生徒原稿，ＰＴＡ原稿，教職員・卒業生・在校生名簿 ※原稿募集は基本，創立３０周年以降の方々とする）
- （５）正式の原稿募集は４月開始とし，原稿の締め切りを８月末日までとする。原稿は学校に着き次第，順次データ化していく。ＣＤ完成を１０月２０日とする。ＣＤ配布開始を１０月３１日式典の日とする。それ以後，年内にベネズエラ国内，日本国内の関係者に配布（郵送，手渡し等）する。

## 6 創立40周年記念運動会

創立40周年記念運動会を開催する。創立40周年を記念して，運動会の中で，「創立40周年を祝うプログラム」（内容未定）を行う。また，周年伝統の「人文字」を撮影する。（この写真は記念誌，記念品に使用する）

## 7 創立40周年記念式典開催（創立40周年記念学習発表会の中で）

創立40周年記念学習発表会を開催する。創立40周年記念学習発表会の中で，「創立40周年を祝うプログラム」を行う。また，この中で，「記念誌ＣＤ」「記念品」の紹介を併せて行い，配布する。

## 8 創立40周年記念品の作成・配布

創立40周年を記念して，記念品を作成し，長く40周年を記念する。記念品として、クリアシート（２種類），ＣＤ版記念誌を制作し，関係者に配布する。（カラカス在住者は手渡し、日本在住者は日本からの郵送）

## 9 創立40周年記念植樹

創立40周年を記念して、校庭に記念樹（未定）を記念式典の日に植樹する。

## 10 日本人学校名簿・沿革史の作成

創立40周年を機に、日本人学校関係者の名簿をデータ及び紙ベースで作成し、データは学校PC及びCDに保存し、以後更新していく。同じく、沿革史についても同様とする。沿革史（40年分）については、記念誌にも掲載する。

## 11 学校施設・設備の整備

創立40周年を機に、学校施設・設備の整備を行う。（平成26年度：①ラ・ブリッサの改築 ②ウサギ小屋・鶏小屋整備 ③観察池製作 ④汚水槽整備 ⑤観覧席屋根の修繕 ⑤樹木の名札付け ⑥40年のあゆみ（掲示物）⑦日本国歌額作成 ⑧平成27年度：校舎外壁塗装等 予定）

## 12 広報活動

創立40周年を世界に広く知らせるべく、ホームページ上で適宜、進捗状況を知らせる。また、邦人、保護者、児童生徒には、学校だより「アビラ」の中で、適宜進捗状況や「40年間の歩み」を知らせる。

## 13 その他

- (1) 事業の本格実施は平成27年4月からとするが、平成26年度中にその一部については、実施を開始する。（例：①平成26年度限りで異動する児童生徒及び保護者、教職員の記念誌原稿 ②ホームページ上に創立40周年記念事業のページ作成「あいさつ」「事業内容」「沿革史」「一般原稿の募集開始」等 ③学校施設・設備の整備 ④資料、名簿、写真、沿革史の整備、⑤校舎内外の環境整備 ⑥予算の確定等）
- (2) 予算の効率化、事業の効率化を図る上からも、一時帰国者（教員及び配偶者、PTA、関係者等）にご協力をお願いする。（物資の運搬、日本国内への郵便物の運搬 等）